

平成27年度研究成果報告書《平成26年度指定教育課程研究指定校事業》

都道府県・指定都市番号	1	都道府県・指定都市名	北海道	研究課題番号・校種名	2 高等学校
				教科名	農業
研究課題	<p>新学習指導要領の趣旨等を実現するための教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究</p> <p>○将来の地域産業や地域農業を支える人材育成に資する農業科教育の在り方についての研究</p> <p>①座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫改善</p> <p>②原則履修科目「農業と環境」における学習状況の把握に資する調査研究</p>				
学校名（生徒数）	<p>北海道静内農業高等学校（166人）</p>				
所在地（電話番号）	<p>北海道日高郡新ひだか町静内田原 797 番地 (0146-46-2101)</p>				
研究内容等掲載ウェブサイト URL	<p>http://www.shizunainougyou.hokkaido-c.ed.jp/</p>				
<p>研究のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座学と実験・実習の密接な連携 ・指導方法等の工夫・改善 ・学習状況の適切な把握 ・地域関係機関との連携 ・学校設定科目「デュアル派遣実習」 					
<p>研究成果のポイント</p> <p>○原則履修科目「農業と環境」（以下、科目「農業と環境」）等における農業学習の指導方法と評価方法の工夫・改善を図ったことで、座学と実験・実習を密接に関連づけた効果的な指導を行うことができた。</p> <p>○日本農業技術検定や生徒へのアンケート調査等を実施したことで、学習状況の把握と分析を行うとともに、その結果を踏まえた授業改善を図ることができた。</p> <p>○地域農業等の人材の育成・確保のシステムを構築するため、日高振興局、JA、町、農家・企業等で組織する「地域産業人育成連携協議会」を設置した。</p>					

1 研究主題等

(1) 研究主題

地域農業や地域社会の持続的かつ安定的な発展に寄与する産業人育成に関する研究
～地域教育力を活用した農業教育の指導方法と評価方法等の工夫・改善～

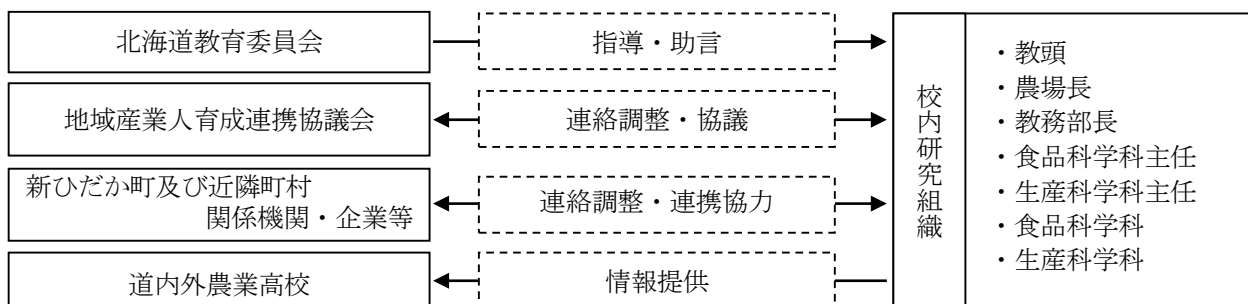
(2) 研究主題設定の理由

本校は、食品科学科と生産科学科の2学科を設置しており、農業の担い手や関連産業に従事する人材育成を目指して、教育活動を推進している。

農業高校においては、生徒が、社会の変化等に対応できるよう、職業人として必要な基礎的・基本的な知識、技術及び技能を確実に習得させることが求められており、地域のニーズを踏まえるとともに、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る指導方法や評価方法の工夫・改善に取り組むことなど、教育の質保証を担保するための教育課程を編成することが重要である。

こうしたことから、農業教育の充実と、社会の変化に柔軟に対応できる力の育成を図ることを目指した教育課程の改善・充実についての研究に取り組むため、本研究主題を設定した。

(3) 研究体制



(4) 2年間の主な取組

平成 26 年度	4月	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の計画及び日程調整 プロジェクト学習の計画発表会の実施 農業科における各科目の評価規準の作成 教育課程研究指定校事業連絡協議会（文部科学省）への出席 	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業及び合評会、教員研修会（農業教育の指導の在り方）の実施 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 科目「農業と環境」において生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施 	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修会（観点別学習状況の評価の在り方）の実施 	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業及び合評会、教員研修会（座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫改善）の実施 	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 日本農業技術検定に向けた指導体制の改善 	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト学習のまとめ・発表会の実施 生徒の産業人としての自覚を促す講演会の実施 「地域産業人育成連携協議会」設置の準備 学校設定科目「デュアル派遣実習」活動成果発表会の開催 次年度へ向けた農業科における各科目の評価規準及び年間評価計画の検証と修正 	
	1月	<ul style="list-style-type: none"> 科目「農業と環境」及び学校設定科目「デュアル派遣実習」の記録簿の検証と修正 科目「農業と環境」において生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施 	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 科目「農業と環境」の学力テストの実施 教育課程研究指定校事業研究協議会（文部科学省）への出席 	
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果の公開（ウェブページ） 	
	平成 27 年度	4月	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の計画及び日程調整 教育課程研究指定校事業連絡協議会（文部科学省）への出席 第1回「地域産業人育成連携協議会」総会の実施
		5月	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト学習の計画発表会の実施 農業科における各科目の評価規準の見直し、改善 科目「農業と環境」において生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施
6月		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の地域農業関連施設等見学会の実施 教員研修会（教育課程の見直し検討）の実施 	
7月		<ul style="list-style-type: none"> 科目「農業と環境」の学習実現状況調査と生徒アンケートの実施 日本農業技術検定に向けた指導体制の見直し、改善（計画作成） 	
8月		<ul style="list-style-type: none"> 教員研修会（観点別学習状況の評価の工夫・改善）の実施 	
10月		<ul style="list-style-type: none"> 研究授業及び合評会、教員研修会（座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫改善）の実施 	
11月		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の産業人としての自覚を促す講演会（各学科）の実施 プロジェクト学習のまとめ・発表会の実施 	
12月		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の産業人としての自覚を促す講演会（全体）の実施 第2回「地域産業人育成連携協議会」総会の実施 学校設定科目「デュアル派遣実習」活動成果報告会の開催 研究授業及び合評会、教員研修会（座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫・改善）の実施 科目「農業と環境」において生徒の現状把握のためのアンケート調査の実施 	
1月		<ul style="list-style-type: none"> 北海道高等学校教育研究大会農業教科部会において研究成果の発表 次年度へ向けた農業科における各科目の評価規準及び年間評価計画の検証と修正 科目「農業と環境」及び学校設定科目「デュアル派遣実習」の記録簿の検証と修正 科目「農業と環境」の学力テストの実施 	
2月		<ul style="list-style-type: none"> 教育課程研究指定校事業研究協議会（文部科学省）への出席 研究成果の公開（ウェブページ） 	
3月		<ul style="list-style-type: none"> 研究報告書の作成 	

2 研究内容及び具体的な研究活動

(1) 研究内容

- ① 座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫・改善
科目「農業と環境」における農業学習のガイダンスとなるプロジェクト学習や科目「作物」・「畜産」・「総合実習」等における発展的なプロジェクト学習の指導方法と評価方法等の工夫・改善を行う。
- ② 科目「農業と環境」における学習状況の適切な把握と授業改善
日本農業技術検定や学力テスト等における学習状況の把握と分析を行うとともに、その結果を踏まえた授業改善を行う。
- ③ 地域関係機関と連携した農業教育の改善
地域農業等の人材の育成・確保のシステムを構築するため、北海道日高振興局、JA、町、農家・企業等で組織する「地域産業人育成連携協議会」を設置し、地域農業等を担う人材の育成を図るための具体的方策について協議するとともに、協議の結果を農業教育の改善に生かす。

(2) 具体的な研究活動

- ① 座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫・改善
 - ア 研究授業及び研究協議、教員研修会の実施
 - (ア) 第1回目(10月8日)
農業科の教員を対象に、「農業教育の指導の在り方」についての研修会を実施し、科目「農業と環境」・「食品化学」、学校設定科目「馬学」の研究授業及び研究協議を行った。
 - (イ) 第2回目(12月16日)
農業科の教員を対象に、「座学と実験・実習を密接に関連付けた指導方法等の工夫・改善」についての研修会を実施し、科目「農業と環境」・「食品化学」、学校設定科目「馬学」の研究授業及び研究協議を行った。
 - イ 農業科における各科目の評価規準等の工夫・改善
指導と評価の一体化を図るため、農業科における各科目について、年間指導計画に則して作成した単元毎の評価規準及び評価計画の工夫改善を行い、生徒の学習状況を的確に評価できるようにした。
 - ウ 科目「農業と環境」及び学校設定科目「デュアル派遣実習」の記録簿の工夫・改善
昨年改善を図った記録簿について、生徒の観点別自己評価欄を新たに設けるとともに、思考力・判断力・表現力を育成するため、記載させる内容の工夫・改善を図った。
 - エ プロジェクト学習の計画発表会及びまとめ発表会の実施(5月1日、11月26日)
プロジェクト学習においては、計画の過程を特に重視しているため、関係機関の職員をプロジェクト計画発表会においては助言委員として、プロジェクトまとめ発表会においては審査員として招聘した。
- ② 科目「農業と環境」における学習状況の適切な把握と授業改善
 - ア 生徒に対するアンケート調査の実施(5月、12月)
科目「農業と環境」において、年度始め及び年度末にアンケート調査を実施し、生徒の学習状況の詳細な把握を行い、分析した結果から授業の到達目標を明確にした。
 - イ 日本農業技術検定の指導方法の改善(7月)
農業に関する基礎的・基本的な知識の定着を図るため、授業及び朝学習などにおいて指導計画を作成することで指導体制を強化した。
 - ウ 科目「農業と環境」の学力テストの実施(2月)
生徒の学習内容の定着状況を把握するため、北海道高等学校学力向上推進事業(北海道教育委員会)における「学力テスト」を実施するとともに、指導の改善に生かすため、その結果を分析した。
- ③ 地域関係機関と連携した農業教育の改善
 - ア 「地域産業人育成連携協議会」総会(4月6日、12月15日)
地域の農業等を担う人材の育成・確保のシステムを構築するため、年間2回の総会を開催し、具体的な方向性について協議・検討した。
 - イ 生徒の産業人としての自覚を促す講演会の実施(各学科11月5日、全体12月11日)

地域農業や地域社会の持続的かつ安定的な発展に寄与する産業人としての意識を高めるため、外部講師を招いて講演会を実施した。

ウ デュアル派遣実習活動成果報告会（12月15日）

学校設定科目「デュアル派遣実習」の活動成果報告会を、実習受け入れ先である農場や牧場、企業の経営者、職員を招いて実施した。

3 研究の成果と課題

(1) 成果

- 生徒対象のアンケート調査の結果を分析したことにより、生徒の学習状況を詳細に把握するとともに、授業の到達目標を明確にすることができた。
- 農業科の各科目における評価規準や評価方法についての工夫・改善を行ったことにより、生徒の学習状況を詳細に把握することができた。
- 科目「農業と環境」及び学校設定科目「デュアル派遣実習」における記録簿の工夫・改善を行ったことにより、観点別学習状況の評価の充実を図ることができた。
- 評価方法の工夫・改善に関わる校内研修会を実施したことにより、教職員の「指導と評価の一体化」についての理解が深まった。
- 日本農業技術検定に向けた指導の工夫・改善を図ったことにより、生徒の基礎的・基本的な知識や技術の定着が図られた。
- 関係団体との連携を深めたことにより、地域の農業等を担う人材の育成・確保のシステムを構築するための組織である「地域産業人育成連携協議会」の設置に向けた準備を整えることができた。
- 地域の企業等において、デュアル派遣実習や地域の人材を活用した講演会等を開催したことで、地域の産業に対する生徒の興味・関心が高まるとともに、理解が深まった。

(2) 課題

- 生徒対象のアンケート調査を継続して実施するとともに、調査項目等について継続的に見直す必要がある。
- 作成した評価規準に基づいて適切に評価するとともに、生徒の学習状況を踏まえて、評価規準を継続的に見直す必要がある。
- 思考力・判断力・表現力等を育成に向け、科目「農業と環境」、学校設定科目「デュアル派遣実習」の記録簿の内容を継続的に見直す必要がある。
- 座学と実験・実習を密接に関連付けた指導の充実を図るため、プロジェクト学習における効果的な指導に関する研修会を実施する必要がある。
- 「地域産業人育成連携協議会」を効率的に運営するため、具体的な運営方針や運営計画等を立案する必要がある。
- 授業に外部講師を招くなど、学校教育に地域の教育力を活用するとともに、地域の関係団体等に授業を公開するなど、地域に対して特色ある教育活動を紹介する必要がある。
- 農業の基礎的・基本的な知識や技術を定着させるために、日本農業技術検定に向けた指導の改善・充実に継続的に取り組む必要がある。

(3) 指定期間終了後の取組

- 生徒対象のアンケートを実施し、生徒の学習状況の現状把握と授業の工夫・改善を行う。
- 評価方法の工夫・改善等に関する校内研修会を実施するとともに、各科目における評価規準の見直しを継続的に行い、指導と評価の一体化を図る。
- 各科目で作成した記録簿の工夫・改善及び観点別学習状況の評価の充実を図る。
- 地域農業等の人材育成・確保のシステムを構築するために「地域産業人育成連携協議会」の事業や活動内容の改善・充実を図る。
- 地域教育力を積極的に活用し、座学と実験・実習を密接に関連付けたプロジェクト学習を推進する。
- 日本農業技術検定や北海道高等学校学力向上推進事業における「学力テスト」の結果を分析し、農業の基礎的・基本的な知識や技術を定着させるために指導方法の工夫・改善を行う。